



地域日本語支援ニュース こだま 第 385 号

2020.7.23

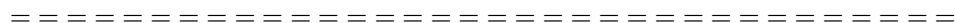


★—— メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます。——★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

★—— 皆様からのご意見、ご感想をお待ちしています。——★

編集部：<https://www.ajalt.org/local/soudan/contact.html>



■AJALT のオンライン教材■

「リソース型生活日本語」オンラインでの活用法

AJALT がホームページで公開している「リソース型生活日本語」は、長年多くの方にご利用いただいてきました。動画「日本の生活」は、近く YouTube でも公開されることになりました。今回は「リソース型生活日本語」と動画「日本の生活」の利用の方法を、オンラインでの支援にも役立てていただけるよう、詳しくご紹介いたします。日本語学習者と一緒にオンラインで、生活体験練習などしてみませんか。



1) 「リソース型生活日本語」の活用

<https://www.ajalt.org/resource/>

2) 動画「日本の生活」の活用

<https://www.ajalt.org/seikatsu/> (2020 年末まで視聴可能)

YouTube (年内に公開予定。ホームページにてお知らせいたします)

- * 日本語支援者と日本語学習者 (入門～上級レベル) に広く利用できます。
- * 多言語の目次で、生活のいろいろな場面の中から学習者が知りたい項目を選べます。
- * 会話例も豊富で、例を参考にアレンジするなど、自由に会話を練習できます。

.....

1) 「リソース型生活日本語」の活用

◆アクセスの手順例

1. 次の URL をクリックします。

<https://www.ajalt.org/resource/>

2. 「リソース型生活日本語」のトップページ左の「Menu」から、翻訳目次を見てください。言語を選んで、クリックします。

* 対訳目次 (8 か国語)

ベトナム語 / 中国語 (繁体字)・中国語 (簡体字) /

韓国語 / ポルトガル語 / スペイン語 / 英語 / タイ語 / タガログ語

* PDF 目次 (2 か国語)

カンボジア語 / ミャンマー語

3. 大項目は 1～6 まであります。見たい項目を一つ選んで、クリックすると、中項目に飛びます。

1. 生活開始に必要な行動
2. 家生活を営むために必要な行動
3. 社会生活を営むために必要な行動
4. 職場生活を営むために必要な行動
5. 人間関係を良好に保つために必要な行動
6. 困ったときに対処するための行動

4. 中項目は内容によって 3～10 項目あります。見たい項目を一つ選んで、クリ

ックします。

例) 大項目 3.社会生活を営むために必要な行動

中項目 1~10

1. 移動する
2. 非常事態に対処する
3. 飲食する
4. 買い物をする
5. 各種サービスを利用する
6. 郵便局を利用する
7. 電話を利用する
8. 子どもの教育機関と関わる
9. 行政サービスを受ける、各種届を出す
- 10.病院へ行く

5.さらに小項目に分かれていますので、見たい項目を一つ選んで、クリック
します。

例) 中項目 2.非常事態に対処する

小項目 1~5

1. 交通事故に対処する
 2. 火事に対処する
 3. 救急車を呼ぶ
 4. 盗難に対処する
 5. 災害に備える
- 6.各小項目には、さらに詳細な項目「目次詳細」があります。「目次詳細」
から見たい項目を選んでクリックすると、会話例とその項目に必要な情報
が出てきます。入門・初級レベルの学習者は、日本語支援者と一緒に「目
次詳細」を見るといいでしょう。なお、「目次詳細」には翻訳がありません。

例) 小項目 5.災害に備える

「目次詳細」

1. 防災のパンフレットをもらう
2. 避難場所を尋ねる
3. 防災訓練に参加する

◆生活体験練習 例

支援者は市役所の職員になって、オンラインで生活体験練習をします。

準備するもの：地域の避難場所の地図

キーワード：避難場所

学習者：すみません。ちょっといいですか。

日本語支援者：はい。

学習者：私の避難場所はどこですか。

日本語支援者：住所はどこですか。

学習者：**市**** ○○アパート 101 です。

日本語支援者：それなら、***ですよ。ここです。

(オンラインで、避難場所の地図を見せてください。)

学習者：ありがとうございました。

*支援のポイント

オンラインで、学習者の発音を確認します。住所やキーワードが、聞き手が理解できる発音ができたら、地域の防災カード等の「避難場所」欄に、学習者自身に記入してもらいます。避難場所の名称が日本語で書ける場合は、表記と発音の両方を確認します。表記の確認は、オンラインの画面を通して見せてもらいます。

*リソース型生活日本語の目次詳細の右側に「音声マーク」がある項目は、聞き取りの練習ができます。

◆一般的な支援方法 まとめ

- (1)学習者に目次を見せて、興味のある項目を選んでもらいます。
- (2)「会話例」は、読み教材ではないので、適宜アレンジして使ってください。
- (3)オンラインで公開されている地域の情報など、学習者に必要な情報を加えて疑似的な生活体験練習を支援してください。

例えば、今年の夏は、水害や台風などの自然災害から避難する場合、コロナ感染を恐れるあまり、避難が遅れて災害の犠牲にならないように、気を付けなければなりません。政府や自治体の情報を適宜加えるといいでしょう。例えば、「在宅避難」では少しでも高い階へ移動すること、または、安全な場所に住んでいる親戚や知人の家に早めに避難すること、避難所へ持っていく物（マスク、アルコール消毒液、体温計等）等の情報も考えられるでしょう。

.....

2) 動画「日本の生活」の活用

<https://www.ajalt.org/seikatsu/>

* 動画ソフトがフラッシュのため、スマホからはご覧になれない場合があります。AJALT のホームページから本動画が視聴できるのは、2020 年末までです。年内には YouTube での配信を開始しますので、ご期待ください。

◆ アクセスの手順例

1. 次の URL をクリックします。

<https://www.ajalt.org/seikatsu/>

2. 動画「日本の生活～リソース型生活日本語より」のイラスト目次をみます。

動画「日本の生活」は「リソース型生活日本語」の会話例から 13 場面を選んで動画にしたものです。

* イラスト目次と内容の紹介

- ・ ゴミを捨てる：近隣への挨拶、ゴミの捨て方について聞く
- ・ パーティーをする：アパートの場面で、暮らしの中の騒音やマナーについて考える。
- ・ 標識を知る：公共マナーを示す表示について、男の人 2 人が話している
- ・ 自転車を置く：公共マナーを示す表示について、男の人 2 人が話している
- ・ マイの 1 日（朝）：夫の両親と生活する外国人配偶者マイの一日（朝）
- ・ マイの 1 日（昼）：夫の両親と生活する外国人配偶者マイの一日（昼）
- ・ マイの 1 日（夜）：夫の両親と生活する外国人配偶者マイの一日（夜）
- ・ 病院に行く：熱のある子どもをつれて、個人病院を初めて受診する
- ・ 保育園に行く：保育園での子ども的一天を紹介。動画の中で連絡帳の内容も見せる

- ・災害に備える：地震について隣の人に情報をもらい、避難訓練に参加する
‘インフォ’：「震度1～7」それぞれの震度でどのくらい揺れるか見てみましょう
- ・遅刻をする：電車が遅れ、遅刻の連絡をする
- ・仕事を休む：熱が出て休むことを会社に連絡、翌日出勤して挨拶する

日本語支援者が、動画「日本の生活」を学習者に見せる時に、「リソース型生活日本語」の「目次詳細」を同時に利用すると便利です。近く配信予定のYouTubeでは、「目次詳細」のURLを表示します。ぜひご活用ください。「こだま」で情報は随時お知らせいたします。
